

ステークホルダーとの対話・協働(エンゲージメント)

ステークホルダーとの対話・協働(エンゲージメント)は、①主要なステークホルダーとテーマに応じてグループ各社の関係部署が直接行うもの、②ステークホルダーやESG評価機関などとの対話を踏まえて、グループ各社の関係部署がグループ内で行うもの、③グループ各社の関係部署が様々なイニシアチブに参加・賛

同するもの、の3通りがあります。様々な方法による対話・協働により、多様なステークホルダーの皆さまのご意見、ご期待などを的確に把握し、経営に反映していくことで、企業価値向上を質・量ともに高めています。


社会価値・企業価値の持続的向上





① 主要なステークホルダーとの対話・協働

りそなグループでは、経営理念を各ステークホルダーへの姿勢として具体化した「りそなWAY(りそなグループ行動宣言)」を定めており、社会価値と企業価値の持続的な向上に向けて、グループ

各社の関係部署がステークホルダーとの建設的な対話や協働を実施しています。

りそなWAY (りそなグループ行動宣言)	対話・協働を通じて目指す方向性(共創価値)と主な取り組み
<h3>お客さま</h3> <p>「りそな」はお客さまとの信頼関係を大切にします</p>	<p>店頭、営業担当、コールセンター、Webサイトなど多角的なチャネルにおけるコミュニケーションを踏まえ、より良いサービスやお客さまのSXサポートなどに向けたソリューションのご提供につなげています。</p>  <p>お客さまとの対話の様子</p> <p>(主な取り組み例)</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さま向け商品・サービスの拡充 <ul style="list-style-type: none"> 資産形成サポート機能強化に向けた取り組み https://www.resona-gr.co.jp/holdings/about/strategy/asset_formation_support.html カーボンニュートラルに向けた対話の深化 → P43 お客さまの声を活かす仕組み(アンケート、コールセンターなど)

<h3>株主</h3> <p>「りそな」は株主との関係を大切にします</p>	<p>株主総会や株主向けセミナー、その他IR活動などを通じて株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を深め、当グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上につなげています。</p> <p>(主な取り組み例) → P32</p> <ul style="list-style-type: none"> 株主総会、株主セミナー 国内外の機関投資家・アナリストとの対話 <ul style="list-style-type: none"> 個別面談：約240回 (うち、CEO：約50回) テーマ別IR：2回 など 個人投資家向けIR：説明会6回(うち、CEO：2回)  <p>社外取締役スモールミーティング</p>  <p>個人投資家向けセミナー りそなの特長・強み YouTubeを活用したセミナー</p>
--	---

社会

「りそな」は社会とのつながりを大切にします

社会貢献活動、金融経済教育、地域社会の発展に向けた官民連携の取り組みなどを通じて、持続可能な社会の実現につなげています。

[Re:Heart倶楽部^{※1}の活動参加人数]



2012年～
累計
約64,000人



[WORLD CLEANUP DAY]
大阪本社周辺清掃活動の様子

地域活性化への取り組み

地域デザインラボさいたま(ラボたま)

「りそな コエドテラス」開業

国の登録有形文化財に指定されている埼玉りそな銀行旧川越支店を埼玉の産業創出・ブランド発信拠点「りそな コエドテラス」として、2024年5月15日にリニューアルオープンしました。

これからも複雑化する地域のこまりごとを、デザイン思考で捉え、「広く・深く・長く」地域の発展に伴走していきます。



従業員

「りそな」は従業員の人間性を大切にします

全従業員を対象とした意識調査や、従業員と経営陣が直接意見交換を行う制度などを通じて、働きやすい職場環境の整備や、従業員の働きがい向上、新たな銀行像の構築につなげています。

(主な取り組み例)

- 従業員アンケート
- 経営層との意見交換「タウンミーティング」
- マイパーパスワークショップ → P21
- 「りそな Women's Council^{※2}」 → P49
- コミュニケーション活性化 → P78



マイパーパスワークショップ

※1 りそなグループの従業員のボランティア団体
※2 女性従業員の声を経営に反映させることを目的とした経営直轄の諮問機関

② グループ内での対話・協業

ステークホルダーやESG評価機関などとの対話を踏まえて、グループ各社の関係部署が、事業戦略、ESG課題などについて対話を行い、取り組みのさらなる推進や情報開示の拡充につなげてい

ます。グループ各社の取り組みの推進・改善状況などは、取締役会、経営会議、グループサステナビリティ推進委員会などに報告しています。

③ イニシアチブへの参加・賛同

国内外イニシアチブへの参加・賛同を通じて、国際社会からの要請や金融の役割を踏まえた持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

